

水 球 と 私

ガネフォ水球

酒 井 哲 也 (79歳)

(日本大学出身)

私が、1963年11月開催の「ガネフォ」に出場する事が出来た、その基礎となるものは、高校は城北高校。そして、大学は日本大学に進学したことにあると思います。そこで、高校、大学時代の事を思い出しながら書いてみました。

私の水球の始まりは、城北高校の2年生の春。校内水泳大会に出たのがきっかけです。当時の城北高校は、水泳部はありましたが競泳だけやっており成績はかんばんがありませんでした。そこで、日大で水球をしていた矢村先輩が、水球を指導して下さることになり全員が水球に変更する事になったそうです。

その時のキャプテンが浜野武人さん（ガネフォ出場・中央大学出身）でした。浜野さんは面白い人で、チーム全体を笑いで包み、寒い練習もこの人になら付いて行こうと思いました。また、明るくて魅力あるリーダーで全体をまとめる最高の人でした。私達は学校の為ではなく、この人のチームの為に頑張ろうと思ったくらいです。城北の水球は、浜野さんなしでは語る事ができないでしょう。

水球部創部2年目にして、浜野城北は国体に出場し、学校をあっという間に驚かせました。校内の水泳大会も浜野さんが企画し、次の選手を育てる目的の大会だったそうです。その時に、私も含め6人が入部（なかば強制的）しました。以前から競泳をしていた横山隆君（中央大出身・東京オリンピック出場）も水球に転向し、浜野さんのもとで必死に練習し、その結果東京地区大会で良い成績を収め、高知のインターハイに出場し3位の成績でした。それから私は、日大に進学し本格的に水球に取り組んでいくことになりました。

日大では、房野君（スペイン在住）と同期でしたが、彼は山城高校でゴールキーパーをやっていて、日大に入ってもキーパーで我がチームのゴールを守ってくれました。また、4年生の時はキャプテンを務めチームをまとめていました。ある日、京都の房野君の実家に泊めてもらった事がありましたが、子供同士がとも仲良くて、特にお姉さんからは可愛がられているようでした。

私が1年生の時の4年生は、内田さんと村川さんです。村川さんは温厚でやさしく、内田さんは歯学部で勉強に忙しく、あまり練習に来てないような気がしますが、口はうるさい方でした。この時期が日大の黄金期でした。競泳、飛込、水

球と全勝、オールジャパン、インカレ等連勝の連続で日本水泳界を引っ張っていましたね。

ここで、皆さんに面白い興味ある話をしたいと思います。
浜野さん、横山、私は、大学の練習の合間に城北高校後輩の練習を見ていました。私が大学3年の頃だったと思いますが、城北の水球部顧問になって来たのが、あの日体大の清原監督です。彼は水球の「すの字」も知らない人でした。しかし、顧問ですので水球を知ってもらう為に技術、指導方法、フォーメーション等を教え込んだのです。清原日体大の水球の基礎は、ここにあったのです。それから3年か4年を経て城北高校を去り、日体大の助手として日体大に帰った彼は、城北での経験を生かして監督となり生徒を指導していきました。それからの水球は、皆さんがご存じの通り日体大の時代になって行ったのです。清原さんは、日体大の水球を卒業していく子供達にそれぞれ学校を紹介し、体育の教師として水球を広め、またそこの生徒を日体大に入れるという、誠に理に適うやり方を実行してこられましたね。

地方の高校の水球のほとんどは、日体大出身の体育教師ですよ。清原さんは、まさに城北で水球と出会い、日体大でその成果を発揮しましたね。以上、城北高校水球部と清原さんとの関係でした。お粗末でした。



村上(本郷) (私) 酒井 村川先輩